



2019.11 / Vol. 42 / Soccer Journal デュッセルドルフ生活を楽しくするマガジン

フォルトウナ通信

FORTUNA AKTUELL - Japanese Version

選手インタビュー

ザック・シュテツフェン

ZACK STEFFEN IM INTERVIEW

ラインダービーに勝利!

DERBYSIEGER!

アペルキャンプ真夫がプロ契約!

PROFI-VERTRAG FÜR SHINTA APPELKAMP





冬のスペシャルキャンペーン！



€100

Toyo Tireの冬タイヤを購入し、
最大€100の燃料券をゲット！

2019年10月1日(火)～2019年11月30日(土)



www.toyo.de/voucher

TOYO TIRES

日本人フォルトゥナファンの皆様

Liebe japanischen Freunde von Fortuna Düsseldorf

フォルトゥナ・デュッセルドルフ マーケティング役員 クリスティアン・コケ

Christian Koke, Fortuna Düsseldorf Vorstand Marketing

私はフォルトゥナ・デュッセルドルフのマーケティング役員に就任してからの数ヶ月で、このクラブとこの街の日本人コミュニティが素晴らしい関係性を構築しているということ強く感じました。そして今後は、皆様との信頼関係を強めていくだけでなく、そこから共に新しいものを作り上げていくことができると願っております。

その良い例として、ある我々のパートナーとの特別な関係性をご紹介します。来たるFCバイエルン・ミュンヘン戦にて、デュッセルドルフ出身のロックバンド“DIE TOTEN HOSEN”との特別コラボレーションユニフォームを着用したいというアイデアを実現するために、我々の腕スポンサーであるTOYO TIRESに相談をさせていただいたところ、一切の難色を示す

ことなく、逆に快くこの試合での腕の広告スペースを提供してくださったのです。この件についてはこの場を借りて、改めてTOYO TIRESに感謝させていただきます！

また、我々のプレミアムパートナーでもあるHITACHIとも、長期に渡る素晴らしいパートナーシップを続けてきております。今年10月に行われたFSVマインツ05戦へJリーグの関係者が視察に訪れた際には、我々の日系パートナー企業の方々も招待したイベントを企画したのですが、日系パートナーを代表して同社の小掠義之社長が、フォルトゥナと日本コミュニティの繋がりについてのスピーチを行っていただきました。このことについても、大変感謝しております。余談ですが、試合も1-0で勝利できたので、皆様が幸



運をもたらしてくださったと思っております。

こういった経験だけではなく、日本人社会の皆様にご覧のブンデスリーガでの戦いを観に来ていただくことができたら、それは我々にとってこの上ない喜びでございます。これからは多くの強豪クラブと対戦することになりますが、是非とも応援よろしくお願いいたします。



Impressum



Herausgeber 発行元:
Fortuna Düsseldorf 1895 e.V.
Pflinger Broich 87
40235 Düsseldorf

Leitung 情報管理:
Thomas Gassmann
(medien@f95.de)

Chefredaktion 編集長:
Gengo Seta
(japandesk@f95.de)

Fotos 写真:
Christof Wolff,
imago

Layout レイアウト:
Christian Lewandowski

Druck 印刷:
Clasen GmbH



ロウヴェン・ヘニングスが11試合で9得点

Torjäger Hennings trifft neunmal in elf Spielen

フォルトウナのエース、ロウヴェン・ヘニングスが絶好調だ。開幕からの11試合で9ゴールを記録するなど、現在ブンデスリーガの得点ランキングでも3位にランクインしている。チームは開幕戦勝利後、引き分けを含む6試合で勝利から見放されるも、そこからラインダービーに勝利するなど4試合で2勝1分1敗と徐々に調子を上げている。

Bremen **1-3** F95

F95 **1-3** Leverkusen

Frankfurt **2-1** F95

F95 **1-1** Wolfsburg

Borussia MG **2-1** F95

F95 **1-2** Freiburg

Hertha **3-1** F95

F95 **1-0** Mainz

Paderborn **0-2** F95

F95 **2-0** 1.FC Köln

Schalke **3-3** F95





2019/20シーズンの開幕戦は、アウエーにてSVヴェルダー・ブレーメンに3-1で快勝し、好スタートを切ったフォルトウナ。しかしホーム開幕戦となったバイヤー・レヴァークーゼン戦では、前半に3失点するなど、苦しい試合内容となり黒星に(1-3)。そこからはアイントラハト・フランクフルト戦(1-2)、VfLヴォルフスブルク戦(1-1)、ボルシア・メンヒェングラートバッハ戦(1-2)、SCフライブルク戦(1-2)、ヘルタ・ベルリン戦(1-3)と、5試合連続で先制に成功するも、そのうち4試合で逆転負けを喫するとい

う、ディフェンスに課題が残る試合結果が続いてしまった。

それでも第8節の1.FSVマインツ戦では、相手に退場者も出たことで数的優位となり、ようやく先制ゴールを守り切ることに成功。1-0で今季2勝目を挙げることとなった。これで勢いに乗りたいフォルトウナだったが、第9節SCパーダーボルン戦では今季初めて得点を奪うことができず。逆に2失点を許し、最下位に沈む昇格クラブに今季初勝利をプレゼントする結果となってしまふ(0-2)。

それでも迎えたホームでの1.FCケルンとのラインダービーでは、5万人を超える大観衆が見守る中、フォルトウナが2得点を挙げて完勝を収めることに(0-2)。続くアウエーでのFCシャルケ04へ自信を持って乗り込むと、この一戦では相手に三度のリードを奪われるも、その度にヘニングスが同点ゴールを奪ってみせ、驚異の粘りを見せたフォルトウナが、勝ち点1点を奪うことに成功した(3-3)。

DERBYSIEGER!



ラインダービーに勝利!

ドイツでは伝統のダービーの一つでもあるフォルトゥナと1.FCケルンのラインダービーが、約22年振りにブンデスリーガ1部で実現した。51500人が詰めかけ、ソールドアウトとなったメルキュア・シュピール・アリーナでの大一番は、ロウヴェン・ヘニングスのPKで先制すると、後半にはエリック・トミーが電光石火のカウンターから追加点を決め、2-0でフォルトゥナが完勝する結果となった。





Fortuna Düsseldorf 2-0 1.FC Köln

フォルトゥナと1.FCケルンの間で行われるラインダービーは、ドイツでも伝統的な一戦として注目を集めるが、ブンデスリーガ1部で対戦するのは1997年以來、約22年振りとなった。4日前にはドイツ杯2回戦が行われ、2-1の逆転勝利で3回戦進出を決めたフォルトゥナに対し、1.FCケルンはドイツ4部リーグクラブに2-3で敗れた後の試合となっていた。

すでに3週間前にはソールドアウトとなるなど、どちらのクラブ

のファンにとっても待ち望んだ一戦は、開始から11分、まずはジモン・テローデが危険なヘディングシュートでフォルトゥナゴールを脅かす。一方、ホームのフォルトゥナも、ヘニングスがポストを直撃するヘディングシュートで応戦するが(25分)、どちらもゴールには至らない。それでも38分、アルフレッド・モラレスが相手陣内で倒されてPKを獲得すると、ヘニングスが落ち着いてゴールネットを揺らし、1点のリードで前半を折り返すこととなる。

後半に入るとケルンが立て続けに同点のチャンスを掴むも、守護神ザック・シュテッフェンの好セーブなどもあり、失点は許さない。すると61分、相手コーナーキックのこぼれ球を拾ったカーン・アイハンが前線へロングフィード。これに反応して飛び出したトミーは、追走してきた相手ディフェンスを巧みに交わし、右足でゴール。結局これが決勝点となり、フォルトゥナがラインダービーに勝利すると共に、貴重な今季3勝目を挙げることに成功した。



ザック・シュテツフェン

24 / Zack Steffen

ザック・シュテツフェン Zack Steffen

貴重な今季3勝目となったラインダービーでの勝利後、フォルトウナの新守護神となったGKザック・シュテツフェンにインタビューを行った。今シーズンから新加入し、すでに11試合を消化したチームについてや、プライベートについて、そしてアメリカ代表などについてなど、興味深い話を聞くことができた。

まずはどんな気持ちでダービーマッチに挑んだかな？

メンタルとフィジカルの両面で激しい戦いになることはわかってたけど、この週はチーム全体で良い練習ができていたし、カップ戦にも勝利して雰囲気も良かったから、自信はあったね。当日はサポーターが最高の雰囲気を作ってくれたことも、僕らの背中を押してくれたよ。どんな相手であっても、ホームで勝ち点は与えたくないからね。それがダービーマッチとなれば尚更だし、この試合で良い内容で勝利したことはさらに自信にもなったし、次にも繋がると思う。

では、デュッセルドルフという街について。

デュッセルドルフというとても良い街でプレーできてラッキーだよ。大きな街だし、食事も美味しくても優しいし、できることがたくさんあって退屈しない街だね。周辺の街はまだチェックできてないけど、行きたい街はもうリストアップしてるよ。

ドイツとアメリカでの生活の違いは？

ドイツの生活スタイルはアメリカとは全然違うね。でも一番難しいことは、まだこの街には友人が少ないことかな。もちろんチームメートはみんなナイスガイだけど、サッカーから離れる時間も大事にしてるんだ。だから近郊の街に住む友人が遊びに来たり、彼らを訪問することでリフレッシュしているよ。

ドイツ語は勉強してるかな？

僕を含めた新加入の選手はみんな、クラブが用意してくれるドイツ語レッスンで勉強してるよ。でもド

イツ語はやっぱ難しいね。ただわからないことは、チームメートらがサポートしてくれるから助かっているよ。

フォルトウナに加入した決め手は？

僕のようなまだ無名な若手選手にとって、ブンデスリーガという世界のトップリーグで試合に出場するチャンスがあること、そして自分を成長させることができる環境が整っていたことかな。ルツツ(スポーツ役員)が僕を評価してくれて、獲得に尽力してくれたことも自信になったし、ここでチームのために全力でプレーして、より良い選手になれたらと思っているよ。

ドイツ挑戦は2回目だよ。

そうだね。前回フライブルグに加入したときは19歳だったし、プロになって間もなかったから試合にも出られなかった。でも今は試合に出場する機会も増えて、ブンデスリーガでの経験も積んでいるし、自分の置かれている立ち位置も責任も違うね。

ではアメリカ代表について。

僕たちアメリカ代表は比較的若いチームで、経験不足がときにパフォーマンスに反映されることもあるけど、選手はみんな向上心が強いし、そのために多くの試合をこなして、ときには失敗からしっかりと学ぶ必要もあると思う。もちろんフォルトウナのチームメートであるアルフレッド(・モラレス)と、代表チームと一緒にプレーできることは嬉しいことだよ。

今のチームの目標を教えてください。

まずはブンデスリーガ1部に残留するために、チーム一丸となって

多くの勝ち点を獲得すること。そしてみんなでお互いを高め合っていきたいね。

では個人的な目標は？

そんなに具体的にはないけど、今はここで1試合1試合にしっかりと出場してステップアップしていくことだね。そして将来的には世界のトップでプレーするために、限界まで挑戦していきたいね。

デュッセルドルフの日本コミュニティは知ってる？

もちろん。ドイツで一番大きいコミュニティだよ。お寿司が美味しいって聞いたから食べに行ったよ。あと焼肉も食べに行ったんだけど、テーブルに七厘があって自分で焼けるようになっていたね。他にもいくつか試したよ。でも僕はシーフードが好きだから、やっぱりお寿司が大好きだね。今では焼肉も好きだし、日本の味付けが好きになったよ。

では最後に日本人サポーターに一言。

僕たちをサポートしてくれることに感謝しているし、みんなからエネルギーとモチベーションをもらっているよ。良いプレーをして勝利を届けられるように、これからも頑張るよ。

Zack Steffen

ポジション:	GK
生年月日:	1994年04月02日
身長:	191cm
体重:	86kg
国籍:	アメリカ
加入年:	2019年
出身地:	ペンシルベニア州コーツヴィル



IMMERMANN



MATTHIAS ZI

アペルカンプ真大がプロ契約!

Shinta Appelkamp erhält seinen ersten Profi-Vertrag!

フォルトゥナがアペルカンプ真大(シンタ)と2021年までのプロ契約を締結した。日独ハーフMFはこれまではU23チーム所属となっていたが、デュッセルドルフで最初のプロ契約にサインすることとなった。なおアペルカンプは、これまでにすでにトップチームで2度、ベンチ入りを果たしているほか、U23チームでもすでに5得点を記録するなど、着実に結果を残している。



「子供のころからの夢を叶えることができた」

ドイツ人の父と日本人の母を持つアペルカンプは、2015年の夏にフォルトゥナのユースアカデミーに加入し、その後、一步步カテゴリーチームを上げながら成長を続けてきた。昨シーズンはU19チームのキャプテンとしてU19ブンデスリーガ・ウェストで22試合に出場し、11得点を記録していた。それが評価され、昨シーズンの途中でU23チームへ個人昇格を果たすと、そこでも5試合に出場するなど、着実に経験を積んできた。そして今シーズンも

すでに、U23チームの一員としてドイツ4部リーグで11試合に出場し、5ゴールを挙げている結果を残している。

その日独ハーフMFは、今シーズンのプレシーズン、本来のU23チームではなく、すべてトップチームで過ごすこととなった。それだけでなく、多くのテストマッチに出場し、さらにはドイツ杯1回戦及び、ブンデスリーガの開幕戦となったSVヴェルダー・ブレーメン戦では、ベンチ入りも果たし

ていた。そういった日々の練習や試合の中で、その高い能力を証明したアペルカンプは、9月20日に自身初めてとなるプロ契約にサインすることとなった。この契約は2021年6月30日までとなり、アペルカンプはフォルトゥナのユースアカデミーからトップ契約を勝ち取った初めての日本人ということになる。なお当面は、トップチームでトレーニングを積み、U23チームで試合経験を重ねながら、更なるステップを目指す予定だ。



「プレシーズンに良いパフォーマンスを見せてくれた」

ルッツ・ファンネンシュティールズ
スポーツ役員も、「シントはプレシーズンにトップチームのキャンプやテストマッチで、良いパフォーマンスを見せてくれた。彼は非常に大きな可能性を秘めており、そして多くのポジションをこなすことができる選手だ。我々は彼がここでサッカー

一選手としてのキャリアにおいて、次のステップを踏んでくれるものと信じている」と期待を口にしている。

またアペルクンプ本人は、「この最初のプロ契約を結べたことで、子供のころからの夢を叶えること

ができました。この夏からトップチームで継続的に経験を積ませてもらえたことは、自分の成長に大きな効果をもたらしてくれました。クラブからこのような信頼をもらえていることに対し、しっかりとプレーで返していきたいと思っています」と喜びと決意を語っている。



フォルトウナと“DIE TOTEN HOSEN” がコラボレーション

»F95xDTH«: Die gemeinsame Kollektion

フォルトウナとロックバンド“DIE TOTEN HOSEN(DTH)”が、その歴史に新たなページを書き加える。“ALLES AUS LIEBE(すべては愛から)”というモットーの下、フォルトウナとDTHは、FCバイエルン・ミュンヘンでのみで着用する特別ユニフォームを発表した。

フォルトウナとデュッセルドルフ出身のロックバンドDTHの歴史は、1989年から始まった。当時の彼らのツアーチケットから、1枚につき1ドイツマルクがクラブ側へ提供されたことにより、当時アカデミー所属だったオリバー・ゲンシュがプロ契約を締結することができただけでなく、アントニー・バッフォエのフォルトウナへの移籍が実現されることとなった。

さらに2000年初頭、フォルトウナがドイツアマチュアリーグへ落ち込んだ時期に、彼らはクラブをサポートするためにメインスポンサー&胸スポンサーになる決断を下してくれていた。それにより当時

のユニフォームの胸には、彼らのモチーフであるドクロマークがプリントされ、クラブの歴史の中でも最も多くのユニフォームを販売する結果となった。このユニフォームは今もなお、象徴的なデザインとしての評価を受けており、その後も多くのファンから再販の強い要望があったほどだった。DTHはこれらのフォルトウナへの多大なる貢献から、2012年にはクラブの永久会員としての称号を得ることとなった。

そして彼らとの友好関係がスタートしてから30年の月日が経過した今年、フォルトウナとDTHは、改めてその関係性を示すための特別

ユニフォームを発表した。このユニフォームはFCバイエルン・ミュンヘン戦のみ限定で着用されることになる。

またユニフォームのほかにも、レトロユニフォームやマフラー、Tシャツ、フラッグなど、フォルトウナとDTHのコラボレーショングッズが発売されている。購入を希望する方は、オンラインショップ及びオフィシャルファンショップから購入可能となる。また、さらにこれらに続くコラボレーションとして、フォルトウナとDTHのロゴがデザインされた特別仕様の電車が、デュッセルドルフの街中を走ることも発表されている。



ALLES AUS LIEBE





Jリーグ/DFLを“おもてなし”

Die J.League und die DFL zu Gast in Düsseldorf

10月19日(土)にホームで行われた1.FSVマインツ戦に、Jリーグ&DFL(ドイツプロサッカーリーグ)の関係者が視察訪問に訪れた。そこでフォルトゥナは、日系パートナー企業の方々とともに“おもてなし”を企画し、アリーナのVIPエリアを紹介したのち、クラブについてのプレゼンテーションを行い、その中で日本との特別な関係性を紹介した。

ブンデスリーガ第8節のマインツ戦は、それまで1勝しか挙げられていなかったフォルトゥナにとって、今シーズンの前半戦を占う上でも非常に重要な意味を持つ一戦となった。またこの日は、フォルトゥナがデュッセルドルフの日本人社会とどのような友好関係を築き上げてきたかを、Jリーグ及びDFLの関係者に紹介するという意味でも、とても良い機会となった。

当日は、日系パートナー企業の方々に加え、デュッセルドルフ日本人学校の校長先生とジェットロ・デュッセルドルフの関係者にも参加していただき、フォルトゥナとともに“ホスト”としてゲストを“おもてなし”した。アリーナツアーからスタートしたプログラムは、その後専用のラウンジへ移動し、様々な資料やビデオなども交えて、フォルトゥナとデュッセルドルフ日

本人社会の特別な関係性を紹介することに。そして最後は、ホーム試合での勝利(1-0)を全員で見届け、この日の特別プログラムは終了となった。



フォルトウナ授業@日本人学校

Fortuna-Unterricht in der japanischen Schule

デュッセルドルフ日本人学校2年生のために毎年行われている「フォルトウナ授業」が今年も実施された。11月に行われるメルキュア・シュピールアリーナの見学会に向けての事前授業となるため、参加した69人の子供たちは、日本デスク瀬田元吾の話に真剣なまなざしで耳を傾けた。



2008年からデュッセルドルフ日本人学校2年生の学年行事となっているアリーナ見学会。毎年子どもたちから人気を博しているイベントだが、2010年からはさらに同学校にて「フォルトウナ授業」を行っている。この事前授業を通じ、アリーナはもとより、フォルトウナについてもより多くの知識を得てもらい、見学会をさらに充実したものにしてもらおうことが狙いだ。

ちなみにこの授業の最後には、フォルトウナの代表的な応援歌(ドイツ語)が紹介され、子供たちはアリーナ見学会までに暗記することを約束した。またもう1つの宿題として、子供たちに選手カードを配り、それを見ながら選手の似顔絵を描いてもらったが、この子供たちの作品は、その後選手たちの下へ届けられ、彼らにも大好評となった。

11月22日(金) アリーナ見学会

DEKA

Bürokommunikation

Telefonanlagen // Multifunktionssysteme // IT Service

あなただけに
最適なサービスを



KONICA MINOLTA

DEKA GmbH // Bahnstr. 150 // 41541 Dormagen • T +49 21 33 . 77 66 - 0 // info@deka.tk // www.deka.tk

ドイツ杯ベスト16進出決定!



Fortuna Düsseldorf 2-1 Erzgebirge Aue



DFB-POKAL

フォルトゥナはドイツ杯2回戦で、ホームにFCエアツゲビルゲ・アウエを迎え撃ったが、試合は開始早々に失点をしてしまう展開となる。それでもロウヴェン・ヘニングスとカシム・アダムスのゴールで逆転に成功し、ドイツ杯3回戦進出を決定させることとなった。



ドイツ杯1回戦でドイツ5部リーグ所属のFC08ヴィリンゲン対戦したフォルトゥナは、延長戦までもつれ込む苦戦を強いられるも、最後はケルヴィン・オフォリとヘニングスの得点で3-1の勝利を収め、2回戦進出を果たしていた。

そしてその2回戦は、今シーズンブンデスリーガ2部で好調を維持するFCエアツゲビルゲ・アウエとホームで対戦することに。1部所属クラブとして負けられない一戦に挑んだフォルトゥナだったが、立ち上がりにGK

フローリアン・カステンマイアーのクリアボールを押し込まれ、早々に1点のビハインドを負ってしまう試合展開に。それでも前半終了間際にヘニングスのゴールで同点に追いつくと、後半にはアダムスが勝ち越しゴールを決め、これにより2-1の逆転勝利でベスト16進出が決定した。

なお、3回戦の相手は抽選の結果、ドイツ3部リーグに所属する1.FCカイザースラウテルンに決定した。この試合はアウェーにて、2020年2月4日(火)18:30キックオフとなる。

ドイツ杯3回戦



2020年2月4日(火)18:30



矯正歯科専門 クリニック ベルゼンパーク
 矯正歯科専門医 Dr. グドルン リュベリンク
 Dr.med.dent. Gudrun Lübberink
 Theo-Champion-Str.15, 40549 Düsseldorf

Belsenplatz下車 徒歩3分、レストラン「和楽」隣
 0177 8623858 (日本語直通、完全予約制)





三元豚
本格
豚カツ専門



TONKATSU
GONTA



Immermannstr. 28 電話 0211 1795653

営業時間 12:00-22:00 水曜定休日



YAKI-THE-EMON
焼左衛門
炭板居酒屋

深夜営業やっています!



Klosterstr. 28 電話 0211 86040193

営業時間 17:30-01:00 日曜定休日



Immermannstr.38

月-土曜日 12:00-14:00, 18:00-23:00

日曜日 17:00-23:00

☎0211360935



黒毛和牛焼肉 阿昏 AHUN



Hansaallee 246 電話 021153674474

営業時間 12:00~14:30, 18:00~23:00 火曜定休日



SABI & GARI
Sushi Izakaya Oberkassel



Luegallee 13 電話 021195598404

営業時間 12:00~14:00, 18:00~22:00 水曜定休日



CLASEN

≡ wo drucken zuhause ist. ≡

Willkommen in der Welt der Farben, Papiere und Druckveredelung. Wir achten darauf, dass sich Funktion, Haptik, Ästhetik und Wirtschaftlichkeit optimal ergänzen. Ihr Design und unsere drucktechnische Kompetenz führen zu perfekten Ergebnissen.

Ob stanzen, prägen, laminieren, lackieren, einen Farbschnitt aufbringen, wir machen fast alles möglich. Wir drucken bis 70 x 100 cm im Offset oder digital mit modernster Technik.

Dicken Karton, Sonderfarben, Hybridprodukte. Mit Bemusterung vorab, mit Druckabnahme, mit dokumentierter Qualitätskontrolle. Auch über Nacht. Auch bis ans andere Ende der Welt. Unser Standort befindet sich 1 km vom Flughafen und der Messe Düsseldorf.

Wer bei uns drucken lässt? Natürlich die Fortuna, die DEG und weitere große Sportvereine. Bekannte Werbeagenturen fühlen sich bei uns wegen der hohen Termintreue wohl. Industriekunden schätzen unsere Beratung und Qualität. Die Stadt und der öffentliche Dienst mag unsere Preise.

Wir sind PSO- (ISO 12647) und FSC®-zertifiziert, drucken klimaneutral und alkoholreduziert (IPA) und erzeugen Strom per Fotovoltaik.

Clasen GmbH

Spielberger Weg 66
40474 Düsseldorf

Fon 0211-447290-0

Fax 0211-447290-60

mail@druckerei-clasen

www.druckerei-clasen.de

Hitachi Social Innovation is
POWERING GOOD

世界を輝かせよう。

より良い未来のために、力を尽くしたい。

それはきっと誰もが持っている想いです。

日立も同じ想いで、持続可能な社会の実現をめざし、
デジタル技術と暮らしや産業を支えるインフラ技術を融合させ、
世界中のパートナーとともに、社会イノベーションを加速させていきます。

より良い未来に向けた日立の取り組みはこちら

社会イノベーション



<https://social-innovation.hitachi/>

